

特集② 持続可能な開発のための教育「ESD」 (Education for Sustainable Development)を知っていますか？

ESDってなんだろう？

「持続可能な開発」という言葉を聞いたことがある方は多いのではないのでしょうか。けれども、「持続可能な開発のための教育(ESD)」という言葉を見たことがある方は少ないと思います。

では、その「ESD」とはどんな概念なのでしょう？「わが国における『国連ESDの10年』実施計画」では、ESDを「一人ひとりが、世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていくことを認識し、行動を変革するための教育」と定義しています。しかし、具体的には何かよくわからないと、ほとんどの方が思われるのではないのでしょうか。

今私たちの身の回りには、地球温暖化や野生生物の絶滅などの様々な環境問題があります。ではこの状態が進めば、地球や人間はどうなってしまうのでしょうか？ おそらく明るい未来が待っているとは思えません。ではどのようにすれば、未来に希望を持てるようになるのでしょうか？

そのためには、私たち一人ひとりの人間が、自分が生きる、生活することによりどこにどのような影響が及ぶのか、またどこから影響を受けているのかをきちんと自分の力で探し、さらにそれを良い方向に持っていくためには、今、ど

のようなことを行動しなければならないのかを考え、自分の身の回りから変革のための行動を少しでも起こすことが必要です。

そして、そのような行動を起こす、考えるための力を養うための活動がESDです。ESDはいつでも・どこでも・誰とでも行えるもの。実は意識していなかったけれど、実はそういう活動をしていた！ということがあると思います。

あなたも、身の回りのESDを見つけて、広めてみませんか？ それがもうESDです。

ESDの歴史	年	内容
	1987年	国連ブルントラント委員会で「持続可能な開発」の概念が展開
	2002年	持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグサミット)で、日本が「ESDの10年」を提言し、国連総会本会議にて「ESDの10年」が採択
	2005年	ESDの10年スタート(2005～2014年) 「ESDの10年・国際実施計画」がユネスコ理事会で承認
	2006年	「わが国における『国連ESDの10年』実施計画」策定
	2009年 3月	「ESDの10年」の後半に向けた対話の場「ユネスコ世界会議」(ボン(ドイツ))が設置

ESDの取組 in 中部

中部地方では様々なESD活動が展開されていますが、その一部をご紹介します。

♣かすがいKIZUNA

「かすがいKIZUNA」事業は、環境省の「ESD促進モデル事業」に中部地方から採択されました。

この事業は平成18年度と19年度の2か年にわたっており、1年目は運営のための枠組み(協議会)づくりと計画づくりをし、2年目にその実践を行いました。舞台となった愛知県春日井市立東高森台小学校の周りには、中部大学といった高等研究機関や青少年自然の家などの教育施設、春日井の自然を守ろうとする「かすがいギフチョウのすむ里山づくりの会」など子供たちの教育にかかわる様々な関係者が存在し、事業運営のための枠組み(協議会)づくりに参加していただきました。



森の健康診断プログラム

事業の特徴として、大きく3つのシステム(別図参照)を掲げて、子供たちの環境教育をESD的に進めました。

具体的には、子供たちの学びに対するカリキュラムをつくり、それを支える人材として大学生が子供たちの講師役(KIZUNAラーニング)となり、その大学生を地域の関係者が支え(KIZUNAコーディネーター)、さらに、地域のPTAなどの協力によるESDの普及事業、学びの成果を発表する場(KIZUNAコミュニティ)づくりを行うといった体制が構築されました。

環境省の事業としての期間は終了しましたが、今でもこの「きずな」を維持し、子供たちの環境教育が実施され、地域に根付こうとしています。

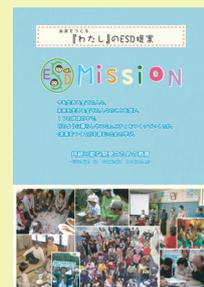


♣中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)

EPO中部では、ESDの普及促進に取り組んでいます。なごや環境大学と協働で「講座」を開催したり、様々な関係者とESD事例調査等を実施しています。昨年12月には今までの調査等の結果を取りまとめ、そこから得られた「気づき」をまとめた「未来をつくる『わたし』のESD提案」という冊子を制作しました。

ご興味がある方は、EPO中部までお問い合わせください。

EPO中部ホームページ <http://www.epo-chubu.jp/>



ESDについて詳しくは：環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/policy/edu/esd/index.html>